

コロナ禍の会員奮闘特集 序

令和 2 年度は日本中コロナに振り回されました：全国で毎年恒例の行事が次々と中止です。V 連もご多聞に漏れず 通常行事が殆どできませんでした。

会員の皆さんも いつも通りの活動ができずに今も事態は好転しているとはいいい難い状況です。

しかし 前号のグループ紹介でも明らかなようにいろいろの分野で ボランティアは絶対に必要でありわれらの仲間の活動は続いています。

そこで 今回の V 連だよりは 少しでも皆さんの参考になり 元気を共有しようと特集を組みました。

地道な頑張りでこの苦境を乗り越えましょう。

もくじ

コロナ禍での会員奮闘特集 序	----- 本頁
要約筆記 つくし	----- 2
拡大写本 はなびら	----- 3
ボランティアグループ やすらぎ会	----- 4

厚生労働省ホームページより



お知らせと今後の予定

1994 年から続いている
V 連相談窓口は
2021 年 3 月から再開予定



コロナ禍でV連の相談窓口

日付 相談内容	11/5	11/19	12/3	12/17	合計
ボランティア希望	70才台女性 パンフレット渡し	70才男性 パンフレット渡し 70才女性 やすらぎ紹介			3名
生活関連	60才台女性 30才台男女 (外国人)	70才台男性 タイヤ交換 エイジングサポ ート紹介	70才台 男性		5名
話し相手	80才台女性		70才台女性 60才台女性 障がい者	80才台女性 障がい者	4名
激励	社協職員 会員 会員 会員			社協職員 会員	7名



発行元 所沢市ボランティア連絡協議会

連絡先 会員は 会長宅です。 会員外は上記枠内の e-mail でお願いします。

所沢市社会福祉協議会からも連絡先を入手可能ですがなるべく e-mail でお願いします。

要約筆記「つくし」

今年度、要約筆記「つくし」の活動は緊急事態宣言による未来館の休館やコロナ拡大防止のため定例会の中止など他団体と同様に活動が少なくなっています。

そのような中でもできる活動はないかと考えていたところボランティアセンターの「所沢社協ボランティアセンターLINE 動画」を拝見し、そこに字幕をつけ誰もが見て分かる動画になればと字幕作成を申し出て5月よりやらせていただいています。

LINE 動画への字幕付けの活動は、はじめての試みでしたがコロナ禍においての生活様式の変化に伴いそれによって活動自体の変化も受け入れる必要性を感じた活動となっています。現在では会員内のつながりを大切にするため対面で活動ができないときはzoomにて会員同士で情報共有を行っています。

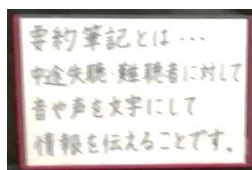
活動減少や異なる行動変容を求められた今年度の活動となっていますが 変化を柔軟に受け入れつつ「だれもが一緒に生きていく社会をめざして」引き続き活動を行っていききたいと思います。

【会員記】

以下 編集者のつぶやき。

下図は2年前のフェスティバルの要約筆記グループのポスターから切り取った手書きの活動紹介です。

それが 今では講演の内容を素早くパソコン入力しスクリーンに出していると聞いています。さらには動画の加工、ZOOMの交流と 進化はとどまるところを知らないかのようです。



恐れ入りました



『拡大写本 所沢はなびら』

私たち『拡大写本 所沢はなびら』は、昭和59(1984)年9月に創設され今に至っております。
平成13(2001)年 市の教育委員会から依頼を受け、弱視児童を対象とした拡大教科書を作成し
提供しています。現在会員は17名。



拡大教科書は、使う児童の視力に合わせて文字の大きさを定め、それに伴って グラフや挿し絵等も拡大
します。作成作業は原則として、自宅でパソコンの打ち込みや、手書きの作業を行い、毎月の例会時に
それぞれ作成したのを持ち寄って、相互に校正します。カラーコピーは富士ゼロックス埼玉・所沢支店さ
んのご厚意で複製し、糊付けなどの作業後 製本し完成となります。

教科書なので納期が厳正に定められており、授業に間に合わせないといけません。ほぼ半期分を毎年3月
末と8月末に教育委員会あてに納めます。



昨年3月末に、令和2年度分を納めることが出来ましたが、
次年度の作業に進む時期に緊急事態宣言が発令され、活動拠
点の未来館が閉館となり、活動が著しく制約されました。

緊急事態宣言解除後、6月初旬から活動を再開しました。

【ソーシャルディスタンスを保ち・三密を避け】と言われていますが、作業的にそれは難しく、お互い気をつ
けながら作業をしています。今年に入って、再度 緊急事態宣言が発令されましたが、今のところ未来館
は閉館とならず、安堵しております。

今までに経験したことのない状況が続いていますが、一日でも早い収束を願いながら活動を続けています。

【会員記】

以下 編集者のつぶやき

ボランティアなのに納期があり さらに一人一人への特注なんて 大変なことですね。
たまに通りかかって外から眺めて「いつものように やっておられるな」と思っていたのですが
互いに向き合わず、感染に気を付けておられるのが 写真から よくわかります。
一人で一冊を作成できない以上 綿密な打合わせのために 会議の場所は 絶対必要ですね。
急な未来館閉鎖の場合は 行政が学童のために 部屋を用意してくれてもよさそうな活動ですね。

ボランティアグループ やすらぎ会

私達の活動は地域の高齢者を対象とした交流会を目的としています。
しかし令和2年2月17日よりコロナウイルス感染拡大により
活動休止を余儀なくされました。3月、4月、5月、緊急事態
宣言が出され先の見えない状況の中で、交流会に来て下さる方には
毎月、皆さんに電話で連絡し 変わりがないか確認してきました。
ようやく6月の定例会が開け

7月からの再開を決めました。交流会開催にあたりアルコール除菌などネットで購入（店頭からは消えていました）、また社協のラインの動画でパーテーション作り方を見て、早速ダンボールでパーテーション作りが始めました（思いのほか大変でした）。そして会場となる集会室の床、椅子、テーブル、スリッパ、皆が触りそうなドアノブ、トイレすべてをアルコール除菌で清掃しました。蜜にならない為のテーブルの配置、使用する器具食器などの熱湯消毒、入り口にはアルコール除菌の用意、部屋はすべての窓を全開、換気扇を回しとにかく風の通りをよくしました。ボランティアはマスク、フェイスシールドの着用、そして交流会に参加される方には家での体温測定とマスク着用をお願いしました。そして当日を迎えることになりました。皆さん開口一番「うわ-元気でよかったね-」。みんなの元気な姿を確認できとても喜んでいました。食事を提供するのでこの日はカレーを提供しました。使い捨て出来るものなるべく使用しました。食事中はパーテーションで囲いおしゃべりせず食べて頂きました。時間も短縮しました。それでも皆さんにはとても喜んでいただきました。しかし2週開いたところでまた感染者が増え活動休止となりました。様子を見ながら又9月より再開。9月、10月、11月の2週目が終わった時点で又、交流会休止という選択となりました。いつも交流会に参加している方の健康の心配、ボランティアは体力低下しないか気がかりですが、コロナには勝てません。我慢の時間だけが過ぎていきます。

【代表記】

以下 編集者のつぶやき

やすらぎ会は いろいろな事情でしょうが 集会場を創設以来
数回変えておられます。積み重なった経験で 会場の設営など
お手のものかと思っていました。
ところがコロナ禍での今度ばかりは簡単ではなかったようです。
手探りで種々の工夫ご苦労様です。
高齢者が中心です。
参加者、ボランティアともに感染しませんように！

